

洪水が起きたとき・・・どうする？ ～小学生を対象とした防災教育の実施～

函館開発建設部では、後志利別川流域の小学校において「防災教育の支援(教材となる資料の提供、授業のサポート)」を行い、総合的な学習の時間で4年生28名が「川を氾濫から防ぐ施設」や「川があふれそうになった時の避難の仕方」などを学びました。

- 開催日時 平成30年9月13日(木) 5～6時限目(90分)
- 実施場所 今金小学校
- 参加者数 4年生: 28名
- 参加機関 主催: 今金小学校 支援: 函館開発建設部 協力: 今金河川事務所他 約8名

※ 教材は、函館開発建設部、教育委員会と小学校の先生などが事前に打ち合わせて作成しました。

授業の様子



映像による水害時の様子の紹介



川を氾濫から防ぐ施設の説明
(今金河川事務所職員がサポート)

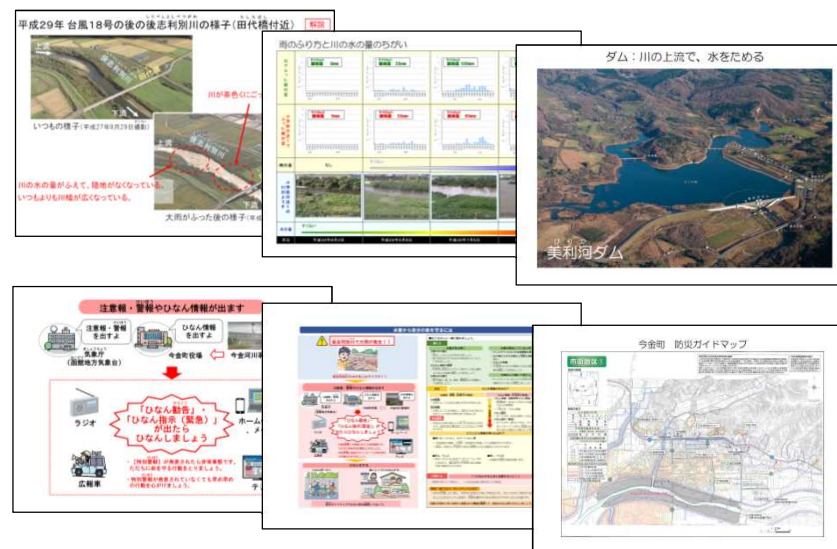


防災ガイドマップを使った
避難場所の学習



防災グッズの紹介

作成した教材(一例)



子供たちの感想

- ・川が氾濫したときに、町にどのような被害が出るか良く分かった
 - ・川が氾濫しそうな時、避難所や高い所に行けば良いことが分かった。
 - ・避難する時の防災グッズにはいろいろな種類があり、その役割が良く分かった。
 - ・洪水が起きた時の命の守り方が良く分かった。
- など